

はじめに

宮崎県は、温暖な気候、明るい太陽、青い空と海、そして緑広がる大地に、多様な生物相が織りなし、私たち県民にとっても快適で住みよい豊かな自然環境を有しています。

その一方で、本県は、台風や梅雨等により大雨が降りやすい地域であるため、度々浸水による被害を受けてきました。

このため、県民の生命や財産を守ることを目的として、従来から河川改修を行ってきましたが、川と人とのかかわりが希薄となったことも事実であります。

そこで、本県では、人々が川と向き合うことで、自然環境を恐れ敬う気持ちや命の尊さを学んできたこと、また、川が地域住民にとって貴重な交流の場として地域の歴史・文化を育んできたことを再認識し、このような川と人々とのかかわりを復活し、次の世代に引き継いでいく必要があります。

このたび、昨年度の「耳川百科」に続き、県南を代表する広渡川水系の人々の暮らし、歴史、文化、自然環境等をまとめた「広渡川・酒谷川百科」を作成しました。

編さんに当たりましては、「広渡川の歴史と文化を語る会」をはじめとして、多くの皆様に多大な御尽力をいただき、また、アドバイザーの方々には専門的観点から御指導、御協力をいただきました。ここに、厚くお礼を申し上げます。

「耳川百科」と同様に本書を通じて、21世紀を担う子供達が増え川に親しみ楽しめるようになり、さらには、県民の皆様が川を一層身近に感じていただくことにより、「川に学ぶ」社会の実現のための一助となれば幸いです。

平成14年10月

宮崎県知事 松形 祐堯